

<研究主題>

I C Tを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

～教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指して～

資料編

授業名 Project1

(単元名) CMをつくって発表しよう！

教科：英語

学習課題

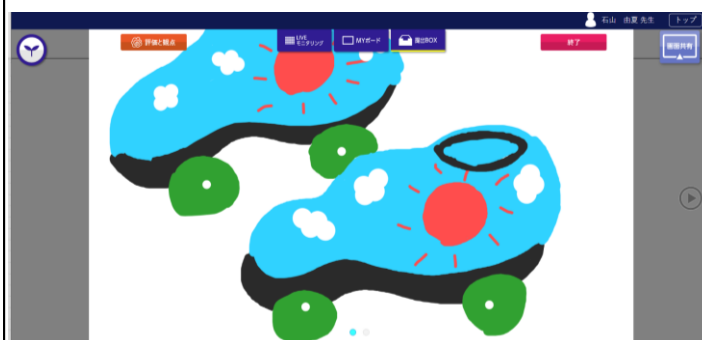
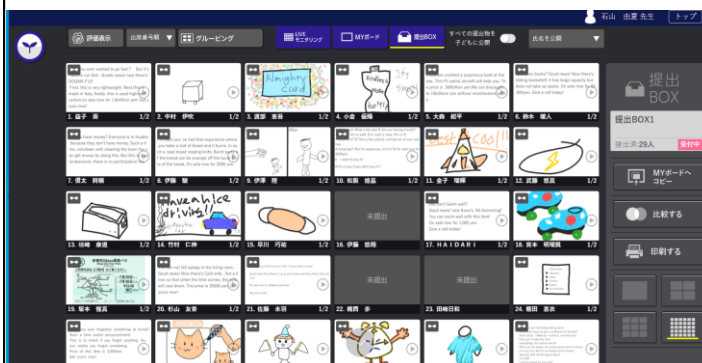
自分で商品またはサービスを考え、画像と原稿を用意して発表する

授業の概要

・新文法や語句を学ぶレッスンの間にある自発的な取り組みが期待できる活動である。第三者へ自分の意見を伝える際の工夫の重要性を認識できるよう、他者へアピールすることが明確なCM作りがゴールとなっている。

・教科書には絵を描く欄・原稿を書く欄とがある。この部分をミライシードのオクリンクを使用して商品画像と原稿の2つのカードを作成して提出するようにした。尚、商品画像は手書きで作成させた。インターネット上の画像を無断使用しないことを併せて伝えている。

・まず班単位で発表し、代表者をクラスで発表させた。



ICTを活用してよかった点・課題など

・提出ボックスを利用することで、生徒の進捗がつかみやすい。提出が終わった生徒は次に発表の練習、未提出の生徒のところへ支援に行くというように段階に合わせてサポートができた。

・各自タブレットを用いて画像を表示できることがよかった。また、提出ボックスを生徒に公開することで、他の班で興味を惹いたものを生徒に選んでもらって代表者にすることもできた。

・手元に学習過程が残るよう、教科書の記入欄は下書きとして活用した。

・自己評価はformを使用している。取りまとめが格段に楽になった。

授業名 単元テスト
(単元名) 単元テスト

教科：英語

学習課題

単元テスト

授業の概要

- ・単元がおわるごとに学習内容の定着度を確認するために単元テストを行っている。なお単元テストはFormsを活用しており、オンラインにて筆記のテストを行っている。
- ・リスニングについても授業内にてテストを行っているが、こちらについてはペーパー試験を行っているので資料としては割愛する。

Lesson 8 単元テスト 2-1

英文での記述問題は、入力の際は単語と単語の間、カンマの後はスペース一回の入力をお願いします。またピリオドを打つときはスペースはあけないこと。

🕒 10分

こんにちは 直継、これは時間指定フォームです。

開始すると、タイマーを一時停止できません。安心して下さい、フォームには、送信前に残り1分のリマインダーが表示されます。回答は、時間が切れると自動的に送信されます。開始する前に提出時間の管理の準備をしてください。

[クリックして開始](#)

1. 次の日本語を連する英語に直しなさい。(1点数)
野生の
回答者の 83% (19/23) がこの質問に正解しました。

| 英語 | インサイト |
|--------|-------|
| wise | 2 |
| wild | 19 ✓ |
| wind | 1 |
| wilder | 1 |

2. 次の日本語を連する英語に直しなさい。(1点数)
網渡りの綱
回答者の 57% (13/23) がこの質問に正解しました。

| 英語 | インサイト |
|-------------|-------|
| lighttroope | 3 |
| lightlope | 7 |
| trope | 0 |
| lighttrope | 13 ✓ |

ICTを活用してよかった点・課題など

- ・オンラインでの単元テストを実施することで、採点業務の必要がなくなり業務の効率化ができただけでなく、その場ですぐに子どもたちにも正答が見れるため、フィードバックが適切に行うことができた。
- ・課題点としては、記述式の際にいくつかの予想正解を読み込ませておかないと不正解として判定されてしまう。また、スペースを1個あけるところを2個あけてしまうと不正解に判定されてしまう。点数入力で手間はかかるが、都度確認をしていく必要がある。

授業名 江戸時代の対外政策
(単元名) 近世の日本

教科：社会

学習課題

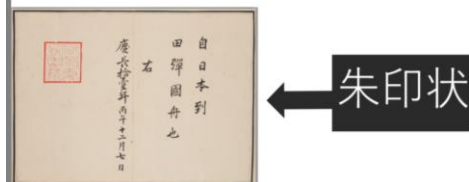
朱印船貿易について調べて伝え合おう

授業の概要

安土桃山時代から江戸時代中盤にかけて行われた朱印船貿易についてテーマごとに分かれて調べ、わかったことを伝え合う。また、そこから新たな疑問や、これまでに学習した貿易との違いに気づき学びを深めていくことで、江戸幕府の体制についてまで考えていきたい。



朱印状を使った貿易のことを
朱印船貿易という
朱印状は貿易を望む大名や豪族に東南アジア
への渡航を許可するために作られたもの



ICTを活用してよかった点・課題など

各自が調べる際、ワークシートを利用するよりも自由度が高く、ただプリントに穴埋めをするだけの作業ではなく、自らが強く関心をもったことについて調べることができた。また、グループで伝え合う場面では、タブレットの画面を見せ合ったり、共有したりすることで円滑に話し合いが進んだ。さらに、インターネットがすぐそばにある環境であるために、出てきた疑問について即座に調べて解決していく様子も見られた。しかしながら、教科書にある重要語句を理解し、まとめるような時間は取ることができず、後からワークなどを用いて学習する時間が必要となってしまったことが今後の課題である。

授業名 裁判員制度と司法制度改革
(単元名)

教科：社会

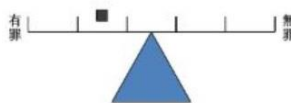
学習課題

模擬裁判をやってみよう

授業の概要

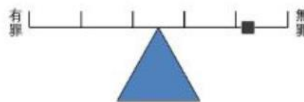
裁判員制度に関心を持ち、より身近に感じてもらうため、役割分担をして模擬裁判を行った。その後の時間に、ICT（ムーブノート）を活用して模擬裁判の振り返りを行った。題材として取り扱った事件が有罪か無罪か、自分自身の考えを作成した。

ここまでの情報で、自分の考えは有罪、無罪のどちらに近いですか。どちらにどのくらい近いかを、矢印の上にスタンプを置いて示しましょう。（スタンプを置くには図をダブルタップします。）また、その理由を書きましょう。



被告人の音での証言が二つあり「声の調子・バイクの停車音」とある
声の調子はあまり証言として強くないがバイクの停車音はかなり有効である。この証言は同じアパートの住人の証言で「いつも聞いている音だ」と証言していることから犯人が戻ってきたとつかむことができる。さらに被害者である店員もこの音を聞いている。しかし姿を見ていないので本当は被告人ではない可能性は捨てられない
※バイクはアパートでその人しか持っていない

ここまでの情報で、自分の考えは有罪、無罪のどちらに近いですか。どちらにどのくらい近いかを、矢印の上にスタンプを置いて示しましょう。（スタンプを置くには図をダブルタップします。）また、その理由を書きましょう。



犯人と思われる人の所持品はXの持っていたものに似ていたが、それぞれの人の証言は「似ていた」ばかりで確実なものではなかった。しかし絵を見る限りそっくりなのでちょっと怪しかった。もし検察側の証言が不確実な証言ではなく、防犯カメラの映像でくっきり犯人が映っていて、もしそれがXと似ている男と一致したという証拠があれば、似ている男は犯人となり有罪となると思う。

ICTを活用してよかった点・課題など

天秤のような図に、自分自身の好きな場所にマークを置くことができる。したがって「有罪 or 無罪」というだけでなく、「有罪よりの無罪」「無罪よりの有罪」といったようなことが可視化できたのがよかった。また、「～のようなことがあれば有罪（無罪）になるかもしれない」という発展的な意見が出てきたことがよかったと思う。ただ、「ノートに書いて」というような手法ではここまでの意見は出てこなかったのではないかと思う。

授業名 相似な図形の拡大・縮小図
(単元名) 相似な図形

教科：数学

学習課題

相似な図形の性質を利用して、図形の拡大・縮小図を考えてみよう。

授業の概要

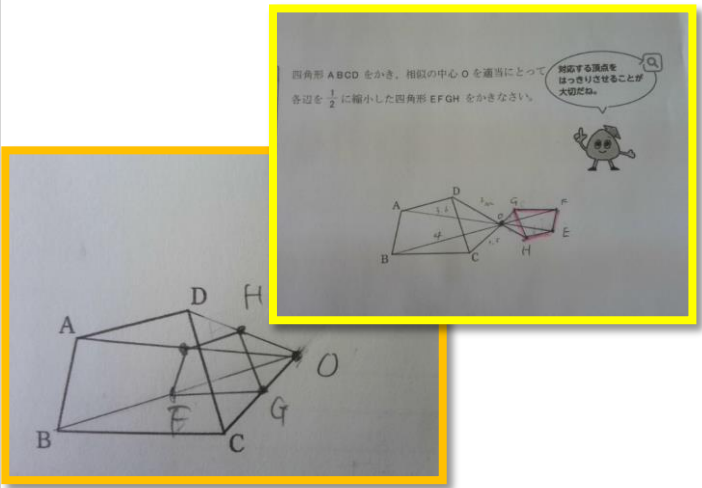
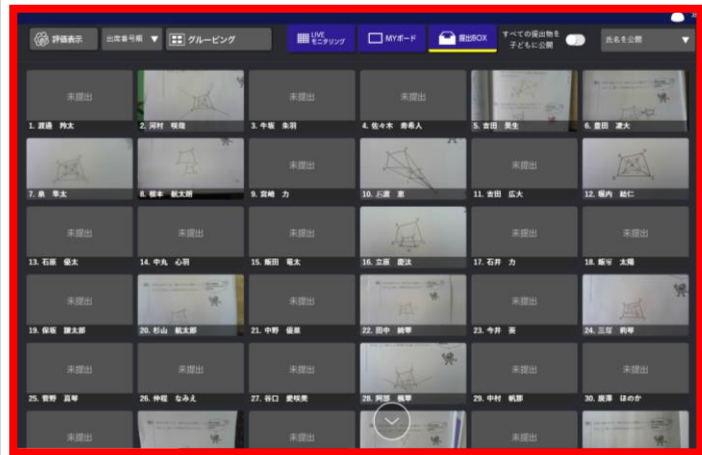
・拡大・縮小される相似な図形の作図には、相似の中心を決めて作図する方法があることを確認する。

⇒その練習問題として相似の中心を適当にとり、元になる図形の各頂点から条件にあった倍率になるように相似の位置に相似な図形を作図する授業。

☆相似の中心を取る位置によって相似な図形の位置や向きなどが自由自在に作られることに気づく。

手元のプリントに自分で自由に相似の中心をとり、作図する練習問題で作図後、タブレットで写真を取り、オンライン内に提出。

⇒その後、全体で比較・確認をした。



ICTを活用してよかった点・課題など

・自分の作図だけではなく、他者の作図を一斉に確認できることで多様な考え方があることに気付けた。

数学科においては図形などの領域で、考え方が無数にある問題にICTの活用は非常に有効である。

・作業の遅い生徒が、問題を解いて写真を撮って送って比較してという作業の多さについてこれない場合があった。

⇒時間に余裕を持たせたり、日頃から積極的に活用することで操作にも慣れさせられると良いと思った。

<理科>

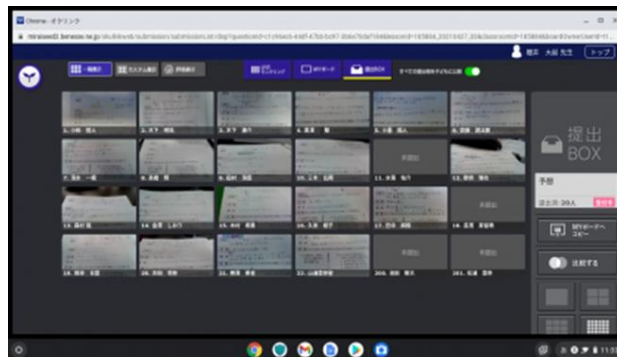
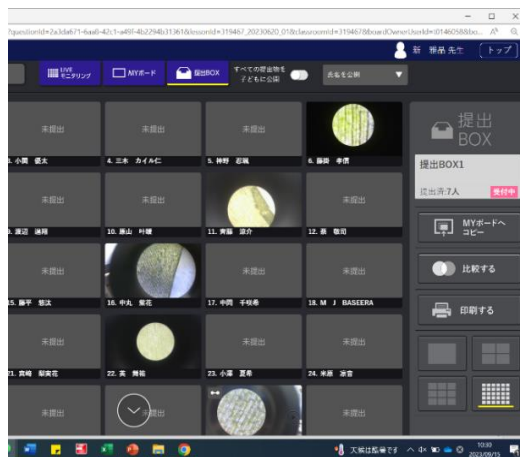
| | |
|-----------------------|-------|
| 授業名 (単元名) 生物の顕微鏡観察 | 教科：理科 |
|-----------------------|-------|

学習課題

生物の体の中の共通のつくりは

授業の概要

植物の細胞（オオカナダモ）ヒト（ほおの内側）の細胞を観察し比較を行う。



ICTを活用してよかった点・課題など

記録として写真で残すことにより何度も見返せる。

生徒は意欲的に取り組むことができていた。

授業名 衣食住の生活
(単元名) 生活を豊かにするものの製作

教科：家庭科

学習課題

ブックカバーを作ろう

授業の概要

布を使ってブックカバーを作る。タブレットを使い、自分で作り方の画像を確認しながら、ブックカバーを作る。

半返し縫いやってみよう！！



ICTを活用してよかった点・課題など

画像で細かいところまで確認することができ、今までよりも自分の力で作業を進めることができるようになった。しかしタブレットの使い方が苦手な生徒や裁縫が苦手な生徒はそれでも進めることができないので、個人的に支援していく必要がある。

授業名 フローチャートとアクティビティ図
(単元名) 情報とコンピュータ

教科：技術

学習課題

身の回りの機械の仕組みをとらえよう

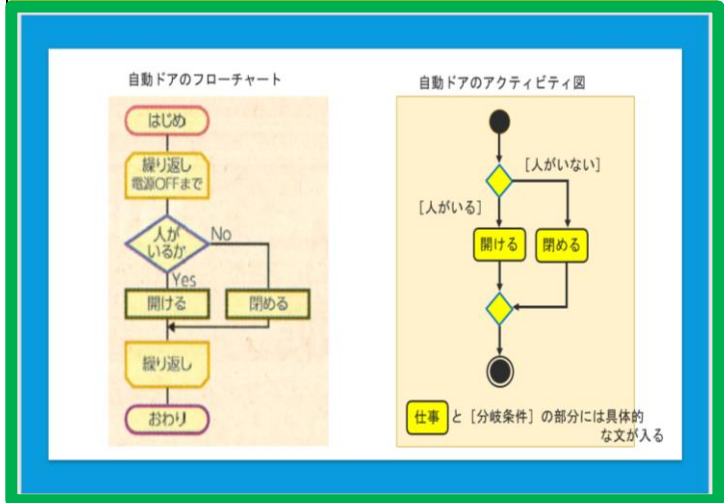
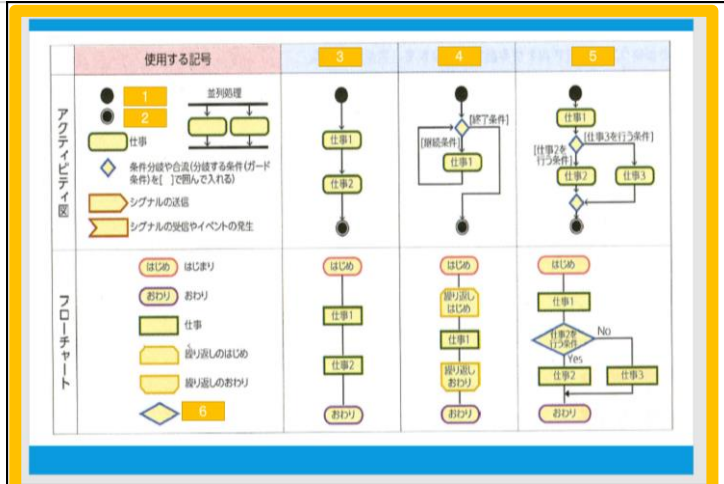
授業の概要

・フローチャートとアクティビティ図の2種類の図を紹介する。身の回りの機械の内部の仕組みはどうなっているのかの表し方を捉える方法を知る。

・それぞれに用いる記号を学び、簡単な例（自動ドア）で確認をする。ここまではPowerPointを使用。

・エアコンの仕組みについて、まず自分でフローチャートを作成。続いてアクティビティ図を用紙に作成。

・できあがった図をタブレットで撮り、オクリンクで全体共有。



ICTを活用してよかった点・課題など

・教科書の図を用いる場合だと見ているのかの曖昧となるが、PowerPointでの映像を用意しておくことで生徒全員の顔が上がり、様子が明確になる。

・ICTで授業の用意をしておくことで、他のクラスでもスムーズに使用できたり、修正を行ったりすることができる。

・生徒は自分の作成したものと周りの作成とを比較することが簡単にできる。

・手際の良い生徒となかなか進まない生徒との差が大きくなってしまふ。

・何度も使用し、自分も生徒も慣れるようにしたい。

授業名 器械運動

(単元名) 「マット・跳び箱運動」 3年男子

教科：保健体育科

学習課題

できそうな技に挑戦し、お互いに協力して課題解決に取り組もう！
身につけた技を使って連続技を作り発表しよう！ ※課題解決学習

授業の概要

- ・自分が今「できる技・できそうな技」を確認し、教え合い、協力し合って、自分の課題解決に取り組み、連続技を完成させる。
- ・身につけた技で連続技を作り、全員の前で発表会を行う。

手本動画



生徒の動画



ICTを活用してよかった点・課題など

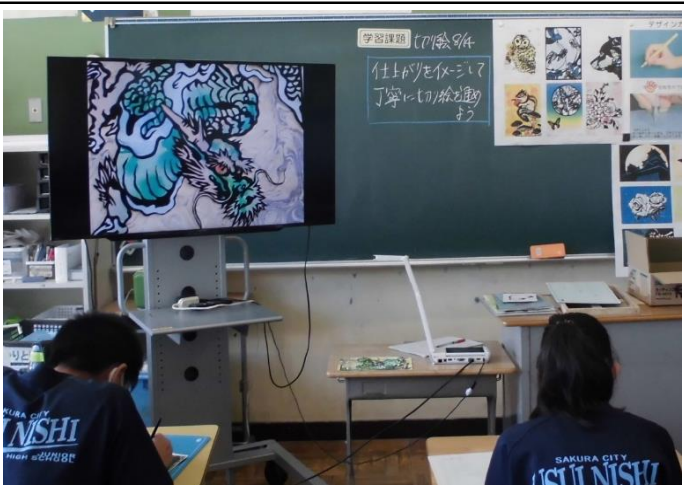
- ・技のポイントを視覚で捉えさせ、改善点を修正させるのに、手本のVTRを観させ、同じ技の完成に取り組む生徒同士で、コミュニケーションをとりながら同じ技の完成に取り組むことができた。
- ・体育館に大きなテレビを持ち込み、他の生徒にもそれぞれの技の特徴を指導しながら、できるだけ多くの技に挑戦させたかった。(体育館にテレビを設置すること)

| | |
|---------------------|-------|
| 授業名 (単元名) すべての時間 | 教科：美術 |
|---------------------|-------|

| |
|--|
| 学習課題 鑑賞以外のすべての時間 ～道具の使い方、作業工程を確認しよう～ |
|--|

授業の概要

- ・新しい課題に向けて、その方法や歴史をパワーポイントを使って学習(OHV・PC使用)
- ・時間ごとの進捗状況の確認と、制作手順や道具の使い方を実演(OHV)
- ・次の課題の説明(OHV:過去の生徒作品を映像で紹介)



ICTを活用してよかった点・課題など

コロナ前は、生徒を集めて手元を見せていたが、集まることができなくなったことから、OHVを使って自席からモニター越しに確認するようになった。このことで生徒全員が同じ映像を見ることができるようになった。現在ほぼ毎時間進捗の確認とその日の作業が容易に確認できるようになった。

| | |
|-------------------|-------|
| 授業名 (単元名) 職業学習 | 教科：総合 |
|-------------------|-------|

| |
|---|
| 学習課題 職業学習 (働くこと2) NPO出張授業 ～いろいろな職業を知ろう～ |
|---|

授業の概要

夏休み前までに職業について学び、いくつかの職業について調べ、それを共有してきた。この学習の最終点として、本年度はNPOの出張授業を実施することとした。今までの学習を振り返り、また出張授業についてのガイダンスを集会で行う予定でしたが、この暑さのため、教室でTeamsによるプレゼン形式のガイダンスとした。



ICTを活用してよかった点・課題など

暑さ対策で、冷房をかけた教室で行ったことで、生徒の集中力は切れずに、説明をよく聞けていたと思っている。教室が横続きで並んでいるため、生徒の反応も確認できたことで内容についての説明もしやすかった。